

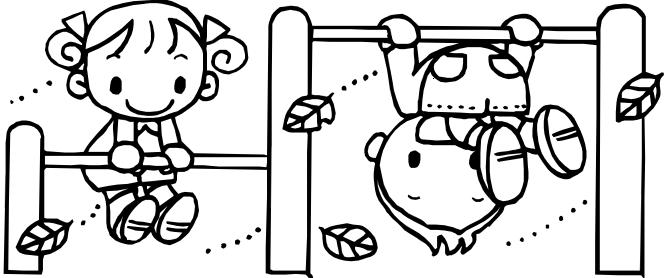


2025.12.16

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

はりきり保育参観日

4日間の保育参観日が終わりました。保護者の皆様には、お忙しい中お出かけくださいましてありがとうございました。お子さんの様子はいかがでしたか。多分、かなりのお子さんの保護者様が「えっ、うちの子はこんなにハイテンションだったかしら?」と思われたのではないでしょうか。どのお子さんも『おうちの方が見えてくれる、幼稚園に来てくれる』だけで、とっても嬉しくなってしまい、その喜びを押さえきれて、いつもよりハイテンションになってしまふようです。



ただ、お子さんによっては見られているという恥ずかしさもあり、逆に動きが控えめになってしまふお子さんもみえます。ご家庭でのお子さんとかなり違った動きをされていたかもしれません、幼稚園でのお子さんの状況はちゃんと担任が把握しているので、心配なさらないでくださいね。もし、気になるところがあれば連絡ノートでおたずねください。

1学期（6月）の参観の時と比べて、どのお子さんも成長の跡が見られました。リズム遊び、朝の会での出席調べ、朝の歌と今月の歌、そして主活動の課題遊びの取り組みへと進んでいく過程で、きちんと先生の言うことを聞いて動いているか、お友だちと一緒に活動が出来ているか、様々な角度からお子さんを見ていただけだと思います。

子どもたちの緊張はもちろんですが、一番緊張がMAXだったのは各クラスの担任だったと思います。私も若い頃、クラス担任を経験していますが、参観日はカチンコチンに緊張していました。またそういう時に限って、普段はしないことを子どもたちがやらかしちゃってくれるんです。何度冷や汗をかいたことか。今回私もお手伝いとしてクラスに入りましたが、先生たちの顔色を見ていて、自分の若い頃を思い出していました。保育参観を終えて一番ほっとしているのは???

なりて不足社会

現在、多くの自治会で役員不足が深刻な問題となっています。我が町の町内会でも、来年度に向けて役員選出の時期ですが、役員の方々が頭を悩めてみえます。確かに現在は会社勤めの方が多く、定年年齢も上がっているので、毎日フリーの方が少なく、できれば避けて通りたいと役員のなり手が減少しているようです。自治会の役員だけでなく、民生委員や保護司、消防団員など、人手不足やなりて不足は社会全体に広がっています。実際に役員を引き受けてもらえず、自治会が無くなってしまった地域もあると聞きました。しかし、自治会は地域を裏でしっかり支えてくれる“縁の下の力持ち”です。例えば

災害が起きた時や、ごみの出し方、道路整備や公園の修繕、防犯灯の点検など、行政とのやり取りに自治会の存在は不可欠です。日々の暮らしをスムーズに、そして気持ちよく保つために、重要な役割を担っています。

では、どうしたら良いのか。いくつかの自治会では、時代に合った新しい形の運営スタイルに切り替えることで、負担感を軽減し、参加しやすい仕組みを整えているそうです。社会の状況の変化に合わせて、役員の負担も軽減できるものはカットし、誰でも出来るような形に変えていくことが必要です。幼稚園では先生のお手伝いをする「お当番さん」がいて、誰もがやりたくて大人気です。「人のために動く」という気持ちを、大人になっても忘れないでいてほしいと思います。



今年1年、保護者の皆様にはご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年も皆様にとって、幸せな年になりますようお祈り申し上げます。よいお年をお迎えください。

